2024年8月29日

<地元愛に関するアンケート調査>

地元好きが多い都道府県は?、地元を離れたけど戻りたい?、3 大スポーツ(サッカー・野球・バスケットボール)人気の順位は?、ライバルは?、地元自治体の取組みどう思う?

この夏、お盆を故郷で過ごされた方も多かったと思います。

株式会社明治安田総合研究所(社長 森本律子)は47都道府県を対象に「地元愛に関するアンケート調査」を実施しました。

主要ポイント

I. 地元好きが多い都道府県

- ◆都道府県別地元好きランキング
- 地元好きが多いトップは兵庫と鹿児島、3位以下は、愛知、熊本、富山と続く
- ◆地元を出た人、地元に残った人別地元好きランキング
- 地元を出た人では熊本がトップ、次いで北海道、鹿児島、千葉、三重、京都、広島
- 地元に残った人では兵庫がトップ、次いで愛知、富山、福岡、鹿児島、神奈川

エコノミスト 木村彩月が分析!

Ⅱ、地元を出た人の志向

- ◆地元を出た理由
- 地元を出た理由は「就職のため」が約4割でトップ。次に「進学のため」が続く
- ◆将来、地元に戻りたいか
- 地元を出た人のうち、将来地元に戻りたいと回答した人は、約半数
- ◆将来、地元に戻りたいと思う都道府県ランキング
- 地元を出た人に聞いた、地元に戻りたいランキングは沖縄がトップ、2位以下は、新潟、 福岡、神奈川、愛知、兵庫と続く

Ⅲ. 地元の好きなスポーツは

- ◆サッカー人気が高い都道府県
- "サッカー王国"静岡がトップ、2位には新潟がランクイン
- サッカー、野球、バスケットボールの3大スポーツのなかでは、地元密着を特長とする Jリーグ効果により、全都道府県平均の人気はサッカーがトップ

◆野球人気が高い都道府県

- 広島がトップ、NPB 球団が本拠地化して相対的に日が浅い宮城、北海道が 2 位、4 位
- 高知、岩手がトップ 10 にランクイン。岩手は出身者である大谷翔平選手の活躍が人気に一役買っている可能性も

◆バスケットボール人気が高い都道府県

- 沖縄がトップ
- 秋田、栃木といった伝統的にバスケットボールが盛んな地域が2位、3位と続く
- 広島は野球、サッカー、バスケットボールともにベスト 10 にランクイン

エコノミスト 前田和孝が分析!

IV. 地元のライバルは?

◆接している都道府県がライバル、例外は(大阪→東京)等3例

• 同一地方に複数の都道府県がある場合、隣接先をライバルとするケースが大部分。例外 は3例(大阪→東京、福岡→大阪、愛知→大阪)

◆互いにライバルと認め合う関係は10例、近畿・九州ではゼロ

 互いにライバルと認め合う関係は、北海道⇔沖縄、東京⇔神奈川、宮城⇔福島、茨城⇔栃木、埼玉⇔千葉、山梨⇔静岡、富山⇔石川、広島⇔岡山、鳥取⇔島根、香川⇔愛媛。 関東地方の3例が最多、近畿・九州地方ではゼロ

◆北海道と沖縄は互いにライバル

• 地理的に最も離れた北海道と沖縄が互いをライバルとする。双方とも観光資源を豊富に 抱えるといった共通項

エコノミスト 吉川裕也が分析!

V. 地元の自治体の取組みについて

- ◆地元に残った人に聞いた期待する取組み
- 「街づくりの強化(交通インフラの整備・空き家の解消など)」がトップ
- 以下、「子育て支援の強化」「やってほしいことは特にない」「自然災害などでの危機管理」「雇用/販路拡大に関する取組み」「観光事業の強化」と続く

◆地元に残った人に聞いた無駄だと思う取組み

- 「そもそも地元自治体の取組みを知らない」がトップ
- 「ゆるキャラなどの話題作り」については、取り組んでほしいと思う割合より無駄だと 思う割合が多い

エコノミスト 藤田敬史が分析!

ご照会先

(株)明治安田総合研究所 経済調査部 藤田、前田、木村、吉川 本調査内容の引用・転載をご希望の場合は、下記までご連絡いただきますよう、お願いいたします。

電 話▶03-6261-7947

E メールトtakafumi.fujita@myri.co.jp

ホームページ https://www.myri.co.jp/



< 調 査 の 概 要 >

(1)調査名:「地元愛に関するアンケート調査」

(2)調査対象: 18歳以上69歳以下の男女5,555人

※職業が「公務員」「経営者・役員」「会社員」「自営業」「自由業」「パート・アルバイト」と回答した人

(3)調査エリア:全国

(4) 調査時期: 2024年7月5日(金)~7月8日(月)

(5)調査方法:WEBアンケート調査

(6)回答者の内訳:

(単位:人)

										(-	単位:人)
	地元に残った人 (平成生まれ)	地元を出た人 (平成生まれ)	地元に残った人 (昭和生まれ)	地元を出た人 (昭和生まれ)	Ħ		地元に残った人 (平成生まれ)	地元を出た人 (平成生まれ)	地元に残った人 (昭和生まれ)	地元を出た人 (昭和生まれ)	Ħ
北海道	31	31	31	31	124	滋賀県	31	31	31	23	116
青森県	31	31	31	31	124	京都府	31	31	31	31	124
岩手県	31	31	31	31	124	大阪府	31	31	31	31	124
宮城県	31	31	31	31	124	兵庫県	31	31	31	31	124
秋田県	31	31	31	31	124	奈良県	31	31	31	31	124
山形県	31	30	31	30	122	和歌山県	31	26	31	26	114
福島県	31	31	31	31	124	鳥取県	31	22	31	16	100
茨城県	31	31	31	31	124	島根県	31	31	31	30	123
栃木県	31	31	31	22	115	岡山県	31	31	31	31	124
群馬県	31	31	31	21	114	広島県	31	31	31	31	124
埼玉県	31	31	31	31	124	山口県	31	31	31	31	124
千葉県	31	31	31	31	124	徳島県	31	23	31	18	103
東京都	31	31	31	31	124	香川県	31	30	31	21	113
神奈川県	31	31	31	31	124	愛媛県	31	31	31	31	124
新潟県	31	31	31	31	124	高知県	31	26	31	20	108
富山県	31	18	31	25	105	福岡県	31	31	31	31	124
石川県	31	23	31	28	113	佐賀県	31	26	31	20	108
福井県	31	18	31	16	96	長崎県	31	31	31	31	124
山梨県	31	21	31	5	88	熊本県	31	31	31	31	124
長野県	31	31	31	31	124	大分県	31	25	31	25	112
岐阜県	31	31	31	31	124	宮崎県	31	31	31	30	123
静岡県	31	31	31	31	124	鹿児島県	31	31	31	31	124
愛知県	31	31	31	31	124	沖縄県	31	20	31	4	86
三重県	31	31	31	31	124	計	1457	1362	1457	1279	5555

I. 地元好きが多い都道府県

◆都道府県別地元好きランキング

- 地元好きが多いトップは兵庫と鹿児島
- 3位以下は、愛知、熊本、富山と続く

◆地元を出た人、地元に残った人別地元好きランキング

- うち地元を出た人で地元好きが多いのは熊本がトップ、次いで北海道、鹿児島、千葉、三 重、京都、広島
- うち地元に残った人で地元好きが多いのは兵庫がトップ、次いで愛知、富山、福岡、鹿児島、神奈川

【質問】地元が好きですか(単一回答)

※選択肢:「好き」「まあ好き」「あまり好きではない」「好きではない」

全体 (①+②)

(単位:%)

①うち地元を出た人 (単位:%)

都道府県名

熊本県

2 北海道

好き・まあ好き

の回答割合

96.8

95.2

②うち地元に残った人 (単位:%)

—	(0.0)	(+12.70)
	都道府県名	好き・まあ好き の回答割合
1	兵庫県	94.4
1	鹿児島県	94.4
3	愛知県	93.5
3	熊本県	93.5
5	富山県	93.3
6	千葉県	91.9
7	神奈川県	91.1
7	長野県	91.1
7	福岡県	91.1
10	北海道	90.3
10	京都府	90.3
43	山梨県	77.3
44	佐賀県	76.9
45	茨城県	75.0
46	青森県	74.2
47	岩手県	68.5

_	16/時足	اے.د
2	鹿児島県	95.2
4	千葉県	93.5
4	三重県	93.5
4	京都府	93.5
4	広島県	93.5
8	石川県	92.2
8	香川県	92.2
10	東京都	91.9
10	長野県	91.9
10	岡山県	91.9
	•	
43	佐賀県	78.3
44	茨城県	77.4
44	岐阜県	77.4
46	徳島県	73.2
47	青森県	67.7

②プラ地元に残力に入(単位:%)						
	都道府県名	好き・まあ好き の回答割合				
1	兵庫県	98.4				
2	愛知県	96.8				
3	富山県	95.2				
3	福岡県	95.2				
5	鹿児島県	93.5				
6	神奈川県	91.9				
7	千葉県	90.3				
7	長野県	90.3				
7	和歌山県	90.3				
7	山口県	90.3				
7	高知県	90.3				
7	熊本県	90.3				
7	大分県	90.3				
:						
41	秋田県	79.0				
41	埼玉県	79.0				
11	自相旧	70.0				

	ē	
41	秋田県	79.0
41	埼玉県	79.0
41	島根県	79.0
44	佐賀県	75.8
45	茨城県	72.6
45	山梨県	72.6
47	岩手県	56.5

◆地元が好きな理由

回答数

(4,785)

57.9

全体

- 地元が好きな理由のトップは「育った地だから」で約6割
- 以下、「住み慣れているから」、「家族・親戚がいるから」、「思い出があるから」、「自然があるから」が続く



28.1

25.9

25.4

24.2

18.7

5.2

【質問】地元が好きな理由はなんですか(複数回答)

エコノミスト 木村彩月が分析!

37.1

30.0

地元に好きなイベントがあるかをたずねると、好きなイベントがあると回答し

45.4

40.1

た人ほど、地元愛が強い傾向にあります。特に、好きなイベントとして、「お祭り」を挙げた人の約 6 割が「地元が好き」と回答しており、「地元が好きではな

い」と回答した人の約5倍となっています。

55.2

お祭りは、地元の伝統や歴史、文化が 集約されたイベントです。老若男女を問 わず、地元を改めて知る機会として、大 きな役割を果たしていると考えられま す。また、地元住民が集まって協力して 開催される場合も多いことから、事前準 備や当日の運営・参加を通じ、地元住民 同士で交流が深められる機会ともなり ます。自分が地元の一員であることを実 感できる身近な場として、地元愛にも影 響を与えているようです。

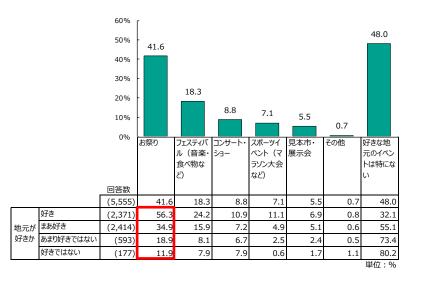
地元が好きな理由として、「思い出があるから」との回答が上位に入っていますが、家族や友人とのお祭りでの楽しい時間が、地元に対するポジティブな感情を増幅させるのに一役買っていそうです。



0.4

単位:%

【質問】地元に好きなイベントはありますか(複数回答)

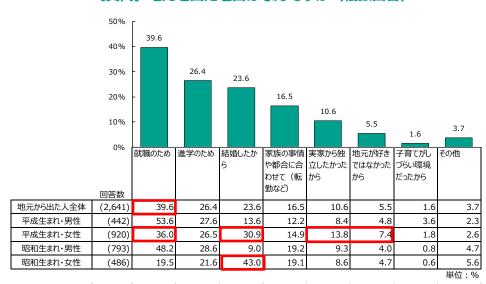


5

Ⅱ. 地元を出た人の志向

◆地元を出た理由

- ・地元を出た理由は「就職のため」が約4割でトップ。次に「進学のため」が続く
- ・男女別に見ると、「結婚したから」は女性の方が多い。平成生まれの女性は「実家から独立したかったから」「地元が好きではなかったから」を理由に挙げる割合が他グループより高め
- ・また、平成生まれの女性で「就職のため」と回答した割合は、昭和生まれの女性と比べ一段と増 えており、やりたい仕事を求めて地元を出る傾向は近年強まっている



【質問】地元を出た理由はなんですか(複数回答)

◆将来、地元に戻りたいか

- ・地元を出た人のうち、将来地元に戻りたいと回答した人は約半数。地元を離れてからあまり年数が 経過していないとみられる平成生まれの方が、地元に戻りたいと考える気持ちが強い
- ・ただ、男女別に見ると、平成生まれの男性の約 6 割が地元に戻りたいと回答する一方、平成生まれの女性は 5 割にとどまっている

【質問】将来、地元に戻りたいですか(単一回答)

	回答数	単位:%	地元に戻りたい と思う・計	地元に戻りたい と思わない・計
地元から出た人全体	2641	17.5 31.9 28.7 22.0	49.3	50.7
平成生まれ・男性	442	21.9 36.2 27.1 14.7	58.1	41.9
平成生まれ・女性	920	18.2 31.8 29.5 20.5	50.0	50.0
昭和生まれ・男性	793	15.4 32.0 28.2 24.3	47.4	52.6
昭和生まれ・女性	486	15.4 27.8 29.2 27.6	43.2	56.8
		■地元に戻りたいと思う □地元に戻りたいと少し思う □地元に戻りたいとあまり思わない □地元に戻りたいと思わない		

◆将来、地元に戻りたいと思う都道府県ランキング

- ・地元を出た人に聞いた、地元に戻りたいランキングは沖縄がトップ
- ・2 位以下は、新潟、福岡、神奈川、愛知、兵庫と続く
- ・愛知、兵庫、神奈川、福岡は地元愛ランキング、地元に帰りたいランキングともにトップ 10 入り

【質問】将来、地元に戻りたいと思いますか(単一回答)

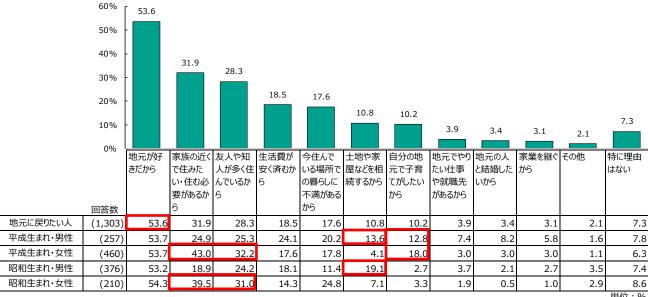
※選択肢:「戻りたいと思う」「戻りたいと少し思う」「戻りたいとあまり思わない」「戻りたいと思わない」 (単位:%)

		(半位:70)
		戻りたいと思う・
	都道府県名	戻りたいと少し思う
		の回答割合
1	沖縄県	75.0
2	新潟県	64.5
2	福岡県	64.5
4	神奈川県	62.9
5	愛知県	61.3
5	兵庫県	61.3
7	香川県	58.8
8	宮城県	58.1
9	山梨県	57.7
10	東京都	56.5

◆将来、地元に戻りたい理由

- ・地元に戻りたいと思う理由のトップは、「地元が好きだから」で半数超
- ・男女別に見ると、男性は「土地や家屋などを相続するから」の割合が高い一方、女性は「家族の近くで住みたい・住む必要があるから」や「友人や知人が多く住んでいるから」の割合が高い
- ・平成生まれは「自分の地元で子育てをしたいから」を理由に挙げる人の割合が、昭和生まれに比べ 高い

【質問】将来、地元に戻りたい理由はなんですか(複数回答)

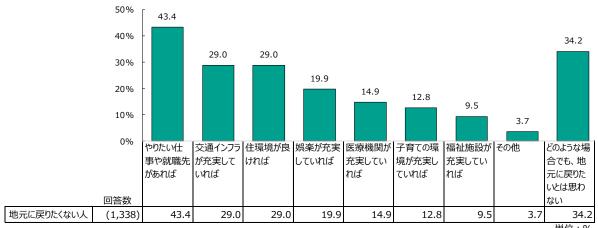


単位:%



◆何が満たされれば、地元に戻りたいと思うか

【質問】何が満たされれば、地元に戻りたいと思いますか(複数回答)

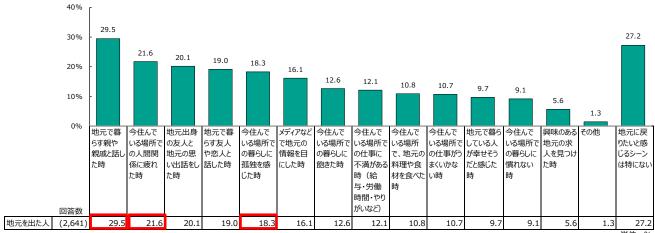


単位:%

◆地元へ帰りたいと思うシーン

- ・地元を離れた人に、地元に帰りたいと思うシーンをたずねると、「地元で暮らす親や親戚と話した 時1が約3割でトップに
- ・一方、「今住んでいる場所での人間関係に疲れた時」や「今住んでいる場所での暮らしに孤独を感 じた時」との回答もそれぞれ約2割を占めており、今住んでいる場所でうまくいっていない時に、 地元に帰りたいと考える人も多い様子

【質問】地元に帰りたいと思うシーンはどんな時ですか(複数回答)



Ⅲ. 地元の好きなスポーツは

応援している地元のスポーツについて聞いたところ、サッカー、野球、バスケットボールの順に なりました

◆サッカー人気が高い都道府県

- サッカー人気が最も高いのは"サッカー王国"静岡、2 位には新潟がランクイン
- サッカー、野球、バスケットボールの 3 大スポーツのなかでは、地元密着を特長とする J リーグ効果により、全国平均の人気はサッカーがトップ

◆野球人気が高い都道府県

- 野球人気が最も高いのは広島
- NPB(日本野球機構)球団が本拠地を置く地域が上位に名を連ねるなか、高知、岩手がトップ 10 にランクイン。岩手は出身者である大谷翔平選手の活躍が人気に一役買っている可能性も
- NPB 球団が本拠地化して相対的に日が浅い宮城、北海道が 2 位、4 位にランクイン

◆バスケットボール人気が高い都道府県

- バスケットボール人気が最も高いのは沖縄
- ●秋田、栃木といった伝統的にバスケットボールが盛んな地域が2位、3位と続く
- •広島は野球、サッカー、バスケットボールともにベスト 10 にランクイン

【質問】応援している地元のスポーツ(スポーツチーム)はありますか(複数回答)

(単位:%) (単位:%)

	都道府県名	サッカーを応援して いる回答の割合		都道府県名	野球を応援して いる回答の割合		都道府県名	バスケットボールを応援 している回答の割合
1	静岡県	34.7	1	広島県	56.5	1	沖縄県	38.4
2	新潟県	27.4	2	宮城県	37.9	2	秋田県	25.8
3	広島県	25.8	3	福岡県	33.1	3	栃木県	20.0
4	徳島県	25.2	4	北海道	32.3	4	島根県	14.6
5	長崎県	24.2	5	愛知県	30.6	5	長崎県	13.7
6	山梨県	23.9	6	兵庫県	23.4	6	広島県	11.3
7	大分県	23.2	7	大阪府	22.6	7	滋賀県	11.2
8	宮城県	22.6	8	高知県	19.4	8	佐賀県	9.3
9	佐賀県	20.4	9	千葉県	16.9	9	青森県	8.9
10	長野県	20.2	10	岩手県	14.5	9	新潟県	8.9
	全国平均	14.3		全国平均	12.4		全国平均	6.4

エコノミスト 前田和孝が分析!

日本のプロスポーツといえば「野球」を思い浮かべる人が多いのではないでしょうか。アンケート結果からも NPB 球団が本拠地を置く都道府県では、「野球」人気が高い傾向にありました。ただ、例外もあり、埼玉は、地元に残った平成生まれの人以外で「サッカー」の回答が「野球」を上回っています。J リーグ屈指の強豪チームがあり、全国高校サッカー選手権大会の優勝回数も 13



回(全国2位)と伝統的にサッカー文化が根付いていることが影響しているとみられます。

また、多くの NPB 球団がオフシーズンにキャンプを行なっていますが、例年キャンプ地となっている高知では、地元に残った平成生まれの人以外が「野球」を最も応援していると回答しています。一方、同様にキャンプ地として名高い宮崎では、年齢や、地元に残った/出たにかかわらず、プロクラブがある「サッカー」の方が「野球」より人気という結果になりました。特に、地元を出た平成生まれの人による「野球」の回答はゼロとなっており、残念ながら「野球」は地元のスポーツとは見なされていないようです。

島根と滋賀では、地元に残った人を中心に「バスケットボール」人気が高くなっています。島根は 1960 年代にインターハイを 2 度制していますが、滋賀は高校年代の主要大会であるインターハイやウィンターカップでの優勝はありません。 両県ともに B リーグに所属するプロクラブが誕生したことでバスケ熱が高まっているようです。

プロクラブ化は地元の活性化につながります。例えば、広島市に昨年サッカーの新スタジアムが完成しましたが、市の試算では、建設による直接効果と、飲食や宿泊などの波及効果を合わせて開業後 20 年間で約 6,760 億円の経済効果を生み出すとされています。加えて、プロクラブ化によってその競技を始める子供たちが増えれば、将来のスター選手が地元に誕生することも夢ではありません。

IV. 地元のライバルは?

◆接している都道府県がライバル、例外は(大阪→東京)等3例

・同一地方に複数の都道府県がある場合、隣接先をライバルとするケースが大部分。例外は3 例(大阪→東京、福岡→大阪、愛知→大阪)

◆互いにライバルと認め合う関係は 10 例、近畿・九州ではゼロ

・互いにライバルと認め合う関係は、北海道⇔沖縄、東京⇔神奈川、宮城⇔福島、茨城⇔栃木、 埼玉⇔千葉、山梨⇔静岡、富山⇔石川、広島⇔岡山、鳥取⇔島根、香川⇔愛媛。関東地方の 3 例が最多、近畿・九州地方ではゼロ

◆北海道と沖縄は互いにライバル

・地理的に最も離れた北海道と沖縄は互いをライバルとする。双方とも観光資源を豊富に抱えており、都道府県魅力度ランキング(2023年、ブランド総合研究所)ではそれぞれ1位と3位(2位は京都府)

【質問】地元の最もライバルだと思う都道府県はどこですか(単一回答)

地方	都道 府県名	ライバルだと思う 都道府県1位	1 位の シェア	ライバルの 人口	相互ラ イバル 関係	地方	都道 府県名	ライバルだと思う 都道府県1位	1位の シェア	ライバルの 人口	相互ラ イバル 関係										
北海道	北海道	沖縄県	14.5	\downarrow	_		大阪府	東京都	24.2	↑											
	青森県	岩手県	21.0	_			京都府	大阪府	26.6	\uparrow											
	岩手県	宮城県	18.5	1		近	兵庫県	大阪府	25.8	\uparrow	0										
東	宮城県	福島県	11.3	\downarrow	1	畿	滋賀県	京都府	18.1	↑	0										
北	秋田県	山形県	24.2	_] '		奈良県	京都府	24.2	↑											
	山形県	宮城県	21.3	1			和歌山県	奈良県	20.2	↑											
	福島県	宮城県	19.4	1			広島県	岡山県	30.6	\rightarrow											
	茨城県	栃木県	44.4	\downarrow		中	岡山県	広島県	46.0	1											
	栃木県	茨城県	33.9	1	3	3	国	山口県	広島県	16.1	↑	2									
関	群馬県	栃木県	43.9	_			3	3	3	3	3	3	3	3	3	124	鳥取県	島根県	55.0		
東	東京都	神奈川県	18.5	\downarrow												3	3	3	3	3	3
	神奈川県	東京都	37.1	1			徳島県	香川県	19.4	\uparrow											
	埼玉県	千葉県	33.9	_		匹	香川県	愛媛県	21.2	\uparrow	1										
	千葉県	埼玉県	38.7	_		国	愛媛県	香川県	38.7	\rightarrow	'										
	新潟県	長野県	11.3	_			高知県	愛媛県	16.7	\uparrow											
	山梨県	静岡県	31.8	1			福岡県	大阪府	8.1	\uparrow											
	長野県	山梨県	14.5	\downarrow			佐賀県	福岡県	12.0	\uparrow											
	静岡県	山梨県	18.5	\downarrow		力 .	長崎県	佐賀県	20.2	\downarrow											
中	富山県	石川県	52.4	_	2	州	熊本県	福岡県	37.1	\uparrow	0										
部	石川県	富山県	27.4	_	2	711	大分県	宮崎県	17.0	l	U										
	福井県	石川県	42.7	1			宮崎県	鹿児島県	16.3	1											
	愛知県	大阪府	12.1	_			鹿児島県	熊本県	25.0												
	岐阜県	愛知県	25.0	1		沖縄	沖縄県	北海道	26.7	↑											
	三重県	愛知県	20.2	1				-													

自らの地元よりも人口が15%以上多い都道府県をライバルとする場合を「↑」、+15%~▲15%の都道府県をライバルとする場合を「一」、15%以上少ない都道府県をライバルとする場合を「→」とする。「相互ライバル関係」は互いにライバルと認め合う関係の数。「1位のシェア」は「ライバルだと思う都道府県1位」を選んだ人の割合

エコノミスト 吉川裕也が分析!

ライバル意識は人口を切り口にある程度統一的に把握することができます。まず、自らの地元よりも人口が 15%以上多い都道府県をライバルとする場合を"下剋上"(25 府県)、+15%~▲15%の都道府県をライバルとする場合を"類友"(13 県)、



15%以上少ない都道府県をライバルとする場合を"無差別級"(9都道県)と定義します。全国的に下剋上を志向する傾向が強く、特に近畿地方では6府県すべてに同傾向が出ています。近畿地方と九州地方において、それぞれの域内で互いにライバルと認め合う関係が芽生えないのは、下剋上志向が特に強いせいかもしれません。

無差別級のケースは9例と少数派です。特に静岡→山梨(▲77.7%)、 北海道→沖縄(▲71.4%)、長野→山梨(▲60.4%)については遥かに人口が少ない都道府県をライバルとしており、人口ひいては経済規模以外の要因(歴史や観光面など)が強く作用している可能性が示唆されます。 この3例を除く6例(宮城→福島、茨城→栃木、東京→神奈川、広島→岡山、愛媛→香川、長崎→佐賀)の平均は▲31.4%であり、いずれも隣接県をライバルとしています。

地方を跨いでライバル関係を見出すケースは3例のみ(大阪→東京、福岡→大阪、愛知→大阪)となっています。この3例については、同一地方で一番人口が近い県(兵庫、熊本、静岡)でも平均して▲53.4%の人口にとどまっています。よって、3割減くらいの人口規模であればライバルとみなせるものの、半分程度の規模感となると他地方に目が行ってしまうようです。宮城、広島、愛媛は同一地方で2番目に人口が多い福島、岡山、香川をそれぞれライバルとしていますが、先々人口差が拡大するようであれば、ライバルを他地方に求める可能性も出てきそうです。茨城は栃木との人口差が開いた場合でも同一地方に埼玉や千葉が、長崎は佐賀との人口差が開いた場合でも同一地方に熊本や福岡があるため、地方跨ぎのライバル関係が発生する可能性は低いとみられます。

11h 1-14	都道	10 (T1)		
地域	府県名	人口(万人)		
北海道	北海道	509.2		
	青森県	118.4		
	岩手県	116.3		
東	宮城県	226.4		
北	秋田県	91.4		
	山形県	102.6		
	福島県	176.7		
	茨城県	282.5		
	栃木県	189.7		
	群馬県	190.2		
関	東京都	1,408.6		
東	神奈川県	922.9		
	埼玉県	733.1		
	千葉県	625.7		
	新潟県	212.6		
	山梨県	79.6		
	長野県	200.4		
	静岡県	355.5		
中	富山県	100.7		
部	石川県	110.9		
ш	福井県	74.4		
	愛知県	747.7		
	岐阜県	193.1		
	三重県	172.7		
	大阪府	876.3		
	京都府	253.5		
近	兵庫県	537.0		
畿	滋賀県	140.7		
⊞X,	奈良県	129.6		
	和歌山県	89.2		
	広島県	273.8		
	四山県 岡山県	184.7		
中		129.8		
国		53.7		
	鳥取県 島根県			
		65.0 69.5		
JTT3	徳島県	69.5		
四国	香川県	92.6 129.1		
山	愛媛県			
	高知県	66.6		
	福岡県	510.3		
	佐賀県	79.5		
九	長崎県	126.7		
州	熊本県	170.9		
	大分県	109.6		
	宮崎県	104.2		
_/.E	鹿児島県	154.9		
沖縄	─ 沖縄県 内閣府、202	146.8		

出所:内閣府、2023年10月 1日時点の推計値

V. 地元の自治体の取組みについて

◆地元に残った人に聞いた期待する取組み

- 「街づくりの強化(交通インフラの整備・空き家の解消など)」がトップ
- ・以下、「子育て支援の強化」「やってほしいことは特にない」「自然災害などでの危機管理」 「雇用/販路拡大に関する取組み」「観光事業の強化」と続く

◆地元に残った人に聞いた無駄だと思う取組み

- 「そもそも地元自治体の取組みを知らない」がトップ
- •続いて「無駄だと思うものは特にない」「ゆるキャラなどの話題作り」と続く

【質問】地元自治体に(地元活性化のため)取り組んでほしいことは何ですか(複数回答)

(単位:%)

内容	取り組んでほしい の回答割合
街づくりの強化	32.7
子育て支援の強化	29.6
やってほしいことは特にない	26.1
自然災害などでの危機管理	23.4
雇用/販路拡大に関する取組み	21.9
観光事業の強化	20.4
イベント開催に関する取組み	18.1
人材育成・教育に関する取組み	17.5
商店街や個人商店の振興に関する取組み	16.9
一次産業(農林漁業)の強化	14.5
移住の促進	13.9
スポーツ振興に関する取組み	10.0
ゆるキャラなどの話題作り	6.5
その他	1.0

【質問】地元自治体が実施しているもので、無駄だと思うことは何ですか(複数回答)

(単位:%)

内容	無駄だと思うの 回答割合
そもそも地元自治体の取組みを知らない	31.8
無駄だと思うものは特にない	28.3
ゆるキャラなどの話題作り	19.4
スポーツ振興に関する取組み	7.7
移住の促進	6.8
イベント開催に関する取組み	6.4
観光事業の強化	5.3
街づくりの強化	5.0
子育て支援の強化	4.9
商店街や個人商店の振興に関する取り組み	4.8
人材育成・教育に関する取組み	3.9
雇用/販路拡大に関する取組み	3.6
自然災害などでの危機管理	3.3
一次産業(農林漁業)の強化	2.6
その他	0.6

エコノミスト 藤田敬史が分析!

「そもそも地元自治体の取組みを知らない」層が一定数いることに鑑みると、自 治体には、その内容のいっそうの積極開示、可視化等が求められると考えます。

「ゆるキャラなどの話題作り」については、取り組んでほしいと思う割合より無駄だと思う割合が多くなっており、住民は特に望んでいない様子がうかがえます。 財源が限られるなか、「街づくりの強化」、「子育て支援強化」、「自然災害などでの



危機管理」、「雇用/販路拡大に関する取組み」、「観光事業の強化」を求める住民の冷静な判断がみてとれます。なお、「ゆるキャラ」は成功例もあり、自治体の PR につながることから、それが話題作りだけにとどまらず、観光や商業に貢献し経済効果を生むなど、地域の活性化をもたらすことができれば有益だと言えます。

人口減少、少子高齢化、東京一極集中、自然災害等、地方を取り巻く環境は厳しいものとなっており、地方創生に関する取組みの重要性が高まっています。令和4(2022)年人口動態統計(確定数)によると、2022年に産まれたこどものうち首都圏(東京、神奈川、千葉、埼玉)産まれが30%を占め、自然や農林水産業などに触れ合う機会が少ないこどもが増加しています。一方、コロナ禍を経て地方移住への関心が高まり、豊かな自然のなかでゆとりある生活を求める人々が増加しました。また、SNS等のデジタルツールを使ったコミュニケーション手段が広く普及し、人々が出身地や居住地を超えて、地域とのつながりを気軽に持つことができるようになり、定住を伴わない形も含め、地域の発展に積極的に貢献できる可能性が広がっています。関係人口*の増加に向けた取組みについて、デジタル化等も活用しつつ、当該地域だけでなく、国民全体の課題ととらえ、国・地方で連携し推進していくことが重要です。都市部と地方との往来の機会を増やし、地方を身近に感じ、積極的に行動する機運を高め、関係人口を増やしていくことが地方創生を浸透、促進させるトリガーになると考えます。

※関係人口とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉(総務省)

[※]本レポートは、明治安田総合研究所が情報提供資料として作成したものであり、いかなる契約の締結や解約を目的としたものではありません。掲載内容について細心の注意を払っていますが、これによりその情報に関する信頼性、正確性、完全性などについて保証するものではありません。掲載された情報を用いた結果生じた直接的、間接的トラブルや損失、損害については、一切の責任を負いません。またこれらの情報は、予告なく掲載を変更、中断、中止することがあります。

[●]発行元●株式会社明治安田総合研究所 〒102-0073東京都千代田区九段北3-2-11 TEL03-6261-6411